

後援：経済産業省・国土交通省（以上、両省申請中）

経営の視点でロジスティクスを捉え、改革を主導する「CLO」を育成

第25期 ロジスティクス経営士 資格認定講座

Certified Logistics Senior Master Course



2026.10.6 **Tue** ▶ 2027.3.26 **Fri**

本講座ではこのような人材を育てます

- ・ 経営の視点を常に意識して、考えることができる。
- ・ 財務諸表を分析し、企業の課題を発見することができる。
- ・ 課題を把握し、優先順位をつけることができる。
- ・ 課題解決のための方策を立案することができる。
- ・ 課題解決案を他社に説明し、理解を得ることができる。
- ・ 自社の業界、自社の立場にとらわれず、自由で柔軟な発想ができる。



公益社団法人
日本ロジスティクスシステム協会
JAPAN INSTITUTE OF LOGISTICS SYSTEMS

地政学的リスクの長期化や原材料・エネルギーコストの高騰、少子高齢化に伴う労働力不足の深刻化、環境対応(脱炭素化)への要請の高まりなど、企業経営を取り巻く外部環境は一層複雑化し、その影響はサプライチェーン全体に及んでいます。加えて、法改正により荷主企業にも物流の適正化・効率化が求められ、物流統括管理者設置の義務化など整備が進むなか、ロジスティクスの更なる高度化は経営の課題として捉えられています。全体最適と持続可能なサプライチェーンを構築するためには、経営視点で改革を主導できる人材の活躍が必須となります。



本講座は、持続的な企業価値向上のためにロジスティクスエグゼクティブに求められるあらゆる領域において、経営や財務の視点から課題を抽出のうえ戦略的解決策を立案し、リーダーシップをもってマネジメントできる人材、すなわち「ロジスティクス経営士」の育成を目的とします。

各分野における最新の理論、技法、専門知識の提供にとどまらず、ロジスティクスに対して高い見識を持つ専門家による講義や事例紹介、自社の問題や課題の発見とその解決策立案の方法を学ぶ「グループミーティング」、企業間コラボレーションの方策を探る「受講者参加型のディスカッション」、また講座で学んだ能力を結集して取り組む「ケーススタディ」等を取り入れることにより、実践的な課題の発見・分析力、戦略立案能力を身につけることが可能なカリキュラム構成としています。

14日間にわたる講座を通じて、将来の経営を担う他業種・他業界の方々との人的ネットワークの構築は何ものにも替えがたい財産となることと確信しております。本講座を積極的に活用されることを期待しております。

本講座のねらい

本講座は、経営の視点からロジスティクスの各機能を総合的にデザインし、戦略の立案と実践のために必要な能力を身につけることを目的としています。

「ロジスティクス経営士」に期待される到達レベル

●「ロジスティクス経営士」資格の認定の際には、特に下記の要件が重要となります。

- | | |
|-------------------------------|------------------------------------|
| 1) 経営の視点を常に意識して、考えることができる。 | 4) 課題解決のための方策を立案することができる。 |
| 2) 財務諸表を分析し、企業の課題を発見することができる。 | 5) 課題解決案を他者に説明し、理解を得ることができる。 |
| 3) 課題を把握し、優先順位をつけることができる。 | 6) 自社の業界、自分の立場にとらわれず、自由で柔軟な発想ができる。 |

本講座の特徴

講義

- 実務経験豊富な委員、講師陣の指導や企業事例を通じて、経営幹部に不可欠なロジスティクスの専門知識や管理方法、財務管理等について学びます。
※構成する単元についてはWEBページをご覧ください。

ケーススタディ

- 仮想企業の改革企画を立案するという実践的なケースを自ら考え抜くことを通して、実務に即した能力を身につけます。
- ケーススタディの意義や進め方、解き方等を例題のケースを通じて、担当委員の指導や助言を受けながら段階的に学びます。

グループミーティング

- 指導委員によるグループ指導やメンバー間の質疑応答を通じて、自社のロジスティクスに関連する業務内容、問題点、原因、課題等を整理し、その解決策について検討します。

受講資格

本講座の受講資格は、下記のいずれかに該当する方といたします。

※本講座のカリキュラムは、以下の受講資格を想定したレベルの講義内容となっております。

- 1) ロジスティクス関連の実務経験が5年程度ある、部長職クラスまたは部長職候補、ならびに幹部候補の方。
- 2) 物流技術管理士または国際物流管理士の資格取得後、実務を3年以上経験した幹部候補の方。

「ロジスティクス経営士」資格

- 本講座を受講し修了基準を満たした方には「修了証」を授与いたします。
- 本講座を修了し、所定の試験に合格した方には「ロジスティクス経営士」(CLSM: Certified Logistics Senior Master)の資格認定証を授与いたします。

- 1. 修了基準** 本講座を受講したもので、以下の基準のすべてを満たした場合、修了者と認定されます。
- ①全日程のうち60%以上出席すること。
 - ②グループ・ミーティング(その1、その2、その3)、および第8単元「ロジスティクスの戦略立案」のすべてに出席すること。
 - ③「ケーススタディ・オリエンテーション その5(エグゼクティブサマリーフォームへの個別指導)」に出席すること。
 - ④「論文」を指定された期限までに提出すること。ただし、「論文作成のポイント」に記載された作成要領、提出体裁を満たしていない場合は受理しないものとする。

修了 修了証の授与

- 2. 合格基準** 以下の基準を全て満たした場合、合格と判定されます。
- ①講座の修了者であること
 - ②論文試験と面接試験を受験し、その合計点(100点満点)が80点以上であること。
- ※配点内訳: 論文試験40点/面接試験60点

合否判定 「ロジスティクス経営士」資格は、出席日数と論文・面接の試験結果から、資格認定規程に則って、公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 ロジスティクス経営士専門委員会にて認定いたします。

※資格認定規程の詳細は、講座開講時に事務局よりご説明いたします。

合格 ロジスティクス経営士 資格認定証の授与

「ロジスティクス経営士」評価基準

- ロジスティクス経営士の合否は、以下の基準によって評価を行います。

1. 評価の視点(=提案を受けた社長の立場から)【論文・面接 共通】

1) 経営の視点から

- (1)財務を踏まえたロジスティクス課題の分析力と解決力の成長度
- (2)ロジスティクス課題を捉える際のスタンス(姿勢)のレベル向上度
- (3)問題解決のすすめ方の習得と、行動計画の実行可能性の度合

2) 提案の実行にあたって

- (1)提案の内容を信頼できるか(リスクを考慮しているか、代替案を作成しているか、代替案との比較検証をしているか、等)
- (2)行動計画を信頼できるか

以上の要件を踏まえて、2. の評価項目を設定し評価する。

2. 評価の項目(論文試験、面接試験= 100点満点)

1) 論文試験(40点)

- (1)ケースの分析と課題把握の能力
- (2)課題解決への視点とアプローチの方法
- (3)提案内容の論理性
- (4)論文の完成度(起承転結・表現方法等が論文として適切か)

2) 面接試験(60点)

- (1)論文提出後のグループ・ディスカッション等を通じて

①論文内容の深化度

- *アウトプット策定過程で、自分が貢献したところはどこか
- *アウトプット策定過程で、特に理解が深化したところはどこか

②ケーススタディの結果に対する理解度

- *ケーススタディから具体的に何を学んだか
- *自分の論文を修正・改訂するとすればどこか

- (2)プレゼンテーション能力

ロジスティクス経営士専門委員会 委員

(2026年7月1日現在)(敬称略)

委員長	尾畑 裕	明治学院大学 経済学部 教授 一橋大学 名誉教授
副委員長	秋葉 淳一	株式会社フレームワークス 会長(第10期 ロジスティクス経営士)
委員	島崎 市朗	アサヒロジ株式会社 執行役員副社長
委員	山田 登	海外調達支援&物流改革研究所 所長(第7期 ロジスティクス経営士)
委員	池田 洋平	カゴメ株式会社 SCM本部 物流企画部 部長(第21期 ロジスティクス経営士)
委員	樋口 恵一	川崎陸送株式会社 代表取締役社長
委員	丸山 正晃	元)KPMGコンサルティング株式会社
委員	荒木 協和	神戸大学 大学院 国際海事研究センター リサーチフェロー 元)サンスターグループ ロジスティクス研究室 室長
委員	早川 典雄	株式会社セイノー情報サービス 社長室 参与(第4期 ロジスティクス経営士)
委員	新井 健文	日本パレットレンタル株式会社 執行役員 海外営業部・渉外部・広報部
委員	飯田 正幸	公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 JILS アドバイザー(第4期 ロジスティクス経営士)
委員	大野 有生	Nexgen Japan株式会社 CEO・物流AIアーキテクト(第15期 ロジスティクス経営士)
委員	下村由加里	株式会社ハンナ 代表取締役社長(第16期 ロジスティクス経営士)
委員	藤田 正美	Fujita Office 代表 元)キュービー株式会社
委員	内田明美子	株式会社湯浅コンサルティング コンサルタント
委員	山口 邦男	Logi-K 代表 元)フェデックスジャパン(第3期 ロジスティクス経営士)
委員	大森 峻一	早稲田大学 理工学術院 創造理工学部 教授

ロジスティクス経営士資格認定講座の構成と全体の流れ

開講日		講義	◆ グループ・ミーティング	❖ ケーススタディ・オリエンテーション		
9月下旬		受講者を対象とした事前説明会を開催します(オンライン)。	指導委員によるグループ指導やメンバー間の質疑応答を通じて、自社のロジスティクスに関連する業務内容、問題点、原因、課題等を整理し、その解決策について検討します。	仮想企業の改革企画を立案するという実践的なケースを自ら考え抜くことを通して、実務に即した能力を身につけます。ケーススタディの意義や進め方、解き方等を例題のケースを通じて段階的に学びます。		
2026年 10月			＜事前課題＞ 自社のロジスティクス課題の取りまとめ	※グループで検討、取りまとめる際にパソコンを使用します。		
Day 1	6日(火)	第1単元 ロジスティクスと経営戦略	その1(グループ指導) ・自社のロジスティクス課題を整理する。 ・他社の業務の概要や課題を理解する。 自社のロジスティクス課題の再検討 自社課題の解決策の整理	その1 ・ケーススタディの意義や進め方についての説明 ・例題1の出題 例題1の検討(個人ワーク) エグゼクティブサマリーの事前提出 		
Day 2	7日(水)					
Day 3	21日(水)	第1単元 ロジスティクスと経営戦略 第2単元 ロジスティクスと経営管理 財務諸表小テスト出題		その2(グループ指導) -1 ・例題1の検討(グループワーク) ・例題2の出題		
Day 4	22日(木)					
Day 5	28日(水)	第2単元 ロジスティクスと経営管理		その2(グループ指導) -2 ・例題1の検討(グループワーク) ・例題2の出題 例題1に関するレポート課題 例題2の検討(個人ワーク)		
Day 6	29日(木)					
11月		財務諸表小テスト提出				
Day 7	17日(火)	第3単元 ロジスティクスにおける企業間コラボレーション 第4単元 企業経営とGRC(ガバナンス・リスク・コンプライアンス) 第5単元 組織の設計	その2(グループ指導) ・自社のロジスティクス課題を再整理する。 ・自社課題の解決策を検討する。 自社課題の解決策の再検討	その3(グループ指導) ・指導委員のグループ指導の下で、例題2についての検討(グループワーク) その4 ・試験論文執筆のためのケースブックの出題 論文の作成(個人ワーク)(約50日間) エグゼクティブサマリーの作成(事前提出)		
Day 8	18日(水)					
		課題の事前提出				
Day 9	30日(月)		その3(グループ指導) ・自社課題の解決策を検討する。 自社課題の解決策の最終取りまとめ	論文の修正(個人ワーク)		
Day 10	12月1日(火)					
2027年 1月		課題の事前提出				
Day 11	13日(水)	第6単元 ロジスティクスとSDGs 第7単元 グローバリゼーション	自社課題の解決策の提出(最終版)	論文の提出<1月19日(火) 16:00締切> ケースブックの検討(グループワーク)		
Day 12	14日(木)					
19日(火)		第8単元 ロジスティクスの戦略立案 (グループディスカッション/グループ指導) ・論文提出後、グループ単位でケースブックについて検討し、発表を行う。 ・発表時には各グループ内で役割を設定し、全員が各々の役割から説明・質疑応答を行う。				
Day 13	26日(火)	面接試験用まとめシートの作成(事前提出)				
Day 14	27日(水)	面接試験 (25分/人 ※2名の委員による面接)				
Day 15	2月12日(金)					
Day 16	3月26日(金)	資格認定証授与式				

Day 1	10/6(火) 開講式 オリエンテーション 特別講義 第1単元:ロジスティクスと経営戦略 他		会場 ビジョンセンターグランデ 東京浜松町
	9:30-10:00 (30分)	開講式	尾畑 裕 明治学院大学 経済学部 教授、一橋大学 名誉教授 ロジスティクス経営士専門委員会 委員長
	10:10-11:40 (90分)	特別講義 歴史に学ぶ物流とロジスティクス	湯浅 和夫 株式会社湯浅コンサルティング 代表取締役社長
	12:30-15:30 (180分)	1-1.ロジスティクスと経営戦略	山田 登 海外調達支援&物流改革研究所 所長 ロジスティクス経営士専門委員会 委員 (第7期ロジスティクス経営士)
	15:45-19:00 (195分)	◆ グループ・ミーティング1 (自社課題を議論し、解決策を作成) 終了後:懇親会 19:00~20:00	ロジスティクス経営士専門委員会 指導委員

Day 2	10/7(水) ケーススタディ・オリエンテーション1 第1単元:ロジスティクスと経営戦略		会場 ビジョンセンターグランデ 東京浜松町
	9:30-15:00 (330分) (含む休憩時間)	❖ ケーススタディ・オリエンテーション1 1) ケーススタディの意義とすすめ方 2) 本講座におけるケーススタディを通じて習得 すべきこと(初級編) 例:財務諸表(BS/PL/CF etc)	丸山 正晃 元)KPMGコンサルティング株式会社 ロジスティクス経営士専門委員会 委員
	15:15-18:15 (180分)	1-2.SCM概論	飯田 正幸 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 JILSアドバイザー ロジスティクス経営士専門委員会 委員 (第4期ロジスティクス経営士)

Day 3	10/21(水) 第1単元:ロジスティクスと経営戦略 第2単元:ロジスティクスと経営管理		会場 JILS会議室
	9:30-11:00 (90分)	1-7.SCMとベンチマーキング	
	11:00-16:30 (330分)	2-1.財務分析と経営管理指標	丸山 正晃 元)KPMGコンサルティング株式会社 ロジスティクス経営士専門委員会 委員
	16:30-18:00 (90分)	2-2.ロジスティクスと在庫マネジメント ※小テスト出題	

Day 4	10/22(木) 第1単元:ロジスティクスと経営戦略		オンライン
	10:00-12:00 (120分)	1-3.ロジスティクス戦略に関わる デジタルトランスフォーメーション の現状と方向性	秋葉 淳一 株式会社フレームワークス 会長 ロジスティクス経営士専門委員会 委員 (第10期ロジスティクス経営士)
	13:00-15:00 (120分)	1-4.ロジスティクスと経営戦略 企業事例:日用雑貨製造業のSCM事例 「ロジスティクスと在庫適正化」	荒木 協和 神戸大学 大学院 国際海事研究センター リサーチフェロー 元)サンスターグループ ロジスティクス研究室 室長 ロジスティクス経営士専門委員会 委員
	15:10-15:40 (30分)	1-5.「経営×変革」ロジスティクスに よるイノベーションを目指して	大野 有生 Nexgen Japan株式会社 CEO・物流AIアーキテクト ロジスティクス経営士専門委員会 委員 (第15期ロジスティクス経営士)
	15:50-16:50 (60分)	1-6.人的資本経営について	円谷 昭一 一橋大学 大学院経営管理研究科 教授

Day

5

10/28(水)

第2単元:ロジスティクスと経営管理

オンライン

10:00-12:00 (120分)	2ー3.デジタルコネクトによる ロジスティクスの俯瞰 ～DX時代のロジスティクス経営への取り組み～	早川 典雄 株式会社セイノー情報サービス LLP事業部 参与(物流技術フェロー) ロジスティクス経営士専門委員会 委員 (第4期ロジスティクス経営士)
13:00-14:50 (110分)	2ー4.企業事例:株式会社ハンナ	下村 由加里 株式会社ハンナ 代表取締役 社長 ロジスティクス経営士専門委員会 委員 (第16期ロジスティクス経営士)
15:00-16:30 (90分)	2ー6.ロジスティクスと経営の評価	樋口 恵一 川崎陸送株式会社 代表取締役社長 ロジスティクス経営士専門委員会 委員

Day 6	10/29(木) ケーススタディ・オリエンテーション2-1		会場 JILS会議室
	9:30-10:50 (80分)	2-5.企業事例:乾汽船株式会社	乾 康之 乾汽船株式会社 代表取締役社長 (第7期ロジスティクス経営士)
	11:00-18:00 (420分) (含む休憩時間)	❖ ケーススタディ・オリエンテーション 2-1 (ケーススタディの解き方=ケーススタディの例題1)	樋口 恵一 川崎陸送株式会社 代表取締役社長 ロジスティクス経営士専門委員会 委員

Day
7

11/17(火)	第3単元:ロジスティクスにおける企業間コラボレーション 第4単元:企業経営とGRC 第5単元:組織の設計	会場 JILS会議室
9:30-11:30 (120分)	5.組織の設計と基本デザイン	宮下 篤志 フェリックス・パートナーズ株式会社 代表取締役
12:30-14:30 (120分)	4.企業経営とGRC (ガバナンス・リスク・コンプライアンス)	田代 邦幸 合同会社Office SRC 代表
14:45-17:45 (180分)	3.ロジスティクスにおける企業間 コラボレーション 1)発表者による講演 2)受講者参加によるディスカッション	内田 明美子 株式会社湯浅コンサルティングコンサルタント ロジスティクス経営士専門委員会 委員 森 正子 味の素株式会社 食品事業本部 物流企画部長 前田 賢司 キュービー株式会社 執行役員 ロジスティクス本部 本部長 跡治 永 三菱食品株式会社 SCM統括 統括オフィス 室長(兼)CLO補佐

Day 8	11/18(水) ケーススタディ・オリエンテーション2-2		会場 JILS会議室
	10:00-17:00 (420分) (含む休憩時間)	❖ ケーススタディ・オリエンテーション 2-2 (ケーススタディの解き方=ケーススタディの例題1)	樋口 恵一 川崎陸送株式会社 代表取締役社長 ロジスティクス経営士専門委員会 委員

Day 9	11/30(月) グループ・ミーティング2 ケーススタディ・オリエンテーション3		会場 JILS会議室
	9:30-12:30 (180分)	◆ グループ・ミーティング2 「自社のロジスティクス課題について」	ロジスティクス経営士専門委員会 指導委員
	13:30-18:30 (300分)	❖ ケーススタディ・オリエンテーション3 (ケーススタディの解き方:ケーススタディの例題2)	

Day 10	12/1(火) 小テストの解説 ケーススタディ・オリエンテーション4 論文作成ミーティング		会場 JILS会議室
	10:00-10:45 (45分)	財務分析と経営管理指標一補講 ※小テストの解説	丸山 正晃 元)KPMGコンサルティング株式会社 ロジスティクス経営士専門委員会 委員
	11:00-12:45 (105分)	❖ ケーススタディ・オリエンテーション4 (ケースブックの紹介、取り組み方)	
	14:00-17:00 (180分)	論文作成ミーティング (講座OBからも論文作成留意点を説明)	飯田 正幸 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 JILSアドバイザー ロジスティクス経営士専門委員会 委員 (第4期ロジスティクス経営士)

2026年

Day 11	1/13(水) グループ・ミーティング3 ケーススタディ・オリエンテーション5		会場 ビジョンセンターグランデ 東京浜松町
	9:30-13:00 (210分)	◆ グループ・ミーティング3 「自社のロジスティクス課題について」	ロジスティクス経営士専門委員会 指導委員
	14:00-18:00 (240分)	❖ ケーススタディ・オリエンテーション5 (エグゼクティブサマリーフォームへの個人指導:30分/1人)	

Day 12	1/14(木) 第6単元:ロジスティクスとSDGs 第7単元:グローバルゼーション		オンライン
	9:30-11:30 (120分)	7-1.ロジスティクスとグローバルゼーション	林 克彦 流通経済大学 流通情報学部 大学院 物流情報学研究所 教授 国際物流管理士専門委員会 委員長
	12:30-14:00 (90分)	7-2.グローバルゼーションの 企業事例:FedEx	山口 邦男 Logi-K 代表 ロジスティクス経営士専門委員会 委員 (第3期ロジスティクス経営士)
	14:15-17:15 (180分)	6.ロジスティクスとSDGs	北條 英 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 理事 JILS総合研究所 所長

1/19(火) 16:00 論文の提出

Day 13	1/26(火) 第8単元:ロジスティクスの戦略立案		会場 JILS会議室
	9:30-18:30 (540分)(含む休憩時間)	❖ ケーススタディ 1) グループ・ディスカッション	ロジスティクス経営士専門委員会 指導委員

Day 14	1/27(水) 第8単元:ロジスティクスの戦略立案		会場 JILS会議室
	9:30-18:30 (540分)(含む休憩時間)	❖ ケーススタディ 1) グループ・ディスカッション 2) グループ発表	ロジスティクス経営士専門委員会 指導・論文評価委員

Day 15	2/12(金) 面接試験		会場 ビジョンセンターグランデ 東京浜松町
	10:00-17:00 (25分/1名)	指導委員・論文評価委員による面接	ロジスティクス経営士専門委員会 指導・論文委員

Day 16	3/26(金) 資格認定証授与式		会場 JILS会議室
	16:00-16:45 (45分)	資格認定証授与式 終了後:懇親会17:00~19:00	尾畑 裕 明治学院大学 経済学部 教授、一橋大学 名誉教授 ロジスティクス経営士専門委員会 委員長

受講申込規程

●受講料(1名当たりの金額:消費税込)

- 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会会員 495,000円
- 上記会員外 605,000円

●有資格者優待(1名当たりの金額:消費税込)

当協会の認定する下記資格を持つ方は優待料金にてご受講いただけます。

(対象: 物流技術管理士、国際物流管理士、グリーンロジスティクス管理士、物流現場改善士)

- 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会会員 440,000円
- 上記会員外 550,000円

●受講料に含まれるもの

- ①テキスト、資料代 ②審査料

●申込方法

WEBにて受け付けいたします。

- 当協会ホームページ(<https://www1.logistics.or.jp>)よりお申し込みください。

トップ → 教育研修 → 講座・コース → ロジスティクス経営士資格認定講座

●定員 30 名

- 定員になり次第、締め切らせていただきます。
- 最小催行人数:20名
- お申し込みが多数の場合、1社あたりの受講人数を制限させていただく場合がございます。

お申し込みはこちら

(キャンセル規程をご確認ください。)



●申込締切 2026年9月25日(金)

- 定員に余裕のある場合のみ直前受付も行います。

●受講料支払い方法: WEB請求書

- 派遣責任者の E-mail に送付いたします。それ以外をご希望の方は、協会への連絡事項欄にご指示ください。
- WEB 請求書が届き次第、指定の銀行口座にお振込みください。
開催前日までをお願いいたします。(開催後になる場合は、参加申込書の支払い予定日欄に明記してください。)
- 振込手数料はお客様にてご負担願います。

【お願い】

- 開講前に受講予定の方のご都合がつかなくなった場合は、代理の方が受講してください。なお、代理の方も不可能な場合は、下記規定によりキャンセル料を申し受けますので、ご了承ください。

【キャンセル規定】

- 開催7日前~前々日(開催初日を含まず起算) (消費税を除く) 受講料の 30%
- 開催前日および当日 (消費税を除く) 受講料の全額

●事前に必ずご確認ください

- 受講者により運営を妨げるおそれのある行為がある場合、対象者の受講を中止させることがあります。
- テキストは会場でお渡しいたします。テキストのみの販売はしておりません。
日本ロジスティクスシステム協会(以下「主催者」という)が定める「JILS オンライン研修受講にあたってご承知いただきたいこと(※)」と、以下の事項の内容をお読みいただき、内容についてご理解、ご承諾のうえお申し込みください。
(※確認先 URL: <https://www1.logistics.or.jp/Portals/0/pdf/onlinekensyu.pdf>)
- 【Zoom について】
 - ◇本講座は Zoom ミーティングもしくはウェビナーを利用して実施します。事前に受講で利用するデバイス(カメラやマイク機能のあるもの)にミーティング用 Zoom アプリをインストールのうえ、Zoom 接続テスト URL(※)にアクセスし、受講に支障がないことを確認してください(Zoom アプリが利用できない場合は、ご参加いただけません)。
 - ◇本講座のスムーズな進行のため事前のインストール、接続テスト、諸機能の把握等へのご協力をお願いいたします。
(※Zoom 接続テスト URL <https://zoom.us/test>)
 - 講義にて Microsoft office の Excel や PowerPoint を使用する場合がありますので利用できるデバイス、環境にてご受講ください。
※受講のお申込みをされた方には後日お送りする「受講調査票」・「職務経歴記入表」をご提出いただきます。

●会場

公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会

〒105-0022 東京都港区海岸 1-15-1 スズエベイディウム 3 階

ビジョンセンターグランデ 東京浜松町

〒105-0012 東京都港区芝大門 1-13-9 UD 芝大門ビル

個人情報のお取扱について

主催者は、個人情報の保護に努めており、詳細は、当協会のプライバシーポリシー(<https://www1.logistics.or.jp/privacy.html>)をご覧ください。
なお、ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本講座に関する確認・連絡・受講者名簿の作成および、主催の関連催し物のご案内をお送りする際に利用させていただきます。